繋がる特集

班員
今津彩花　島田拓哉
西野園美　林芽衣　山口諒

ウイングド・ウィール　手紙で繋がる

表参道から少し入った閑静な住宅街に位置する『ウイングド・ウィール』では、カードや封筒、便箋など手紙用品を専門に取り扱っている。EmailやSNSで気軽にコミュニケーションをとることができる昨今だが、あえてアナログな手紙の文化を大切にしている。

おしゃれな店内にはおよそ千種類の商品が並ぶ。どの商品も一枚一枚手に取ることができる。数枚から購入できるので、価格も高くなく誰でも気軽に買うことが可能だ。

また、商品には素材や加工などへのこだわりが詰まっている。商品の9割がお店オリジナルの紙だ。現代では木材を原料とした紙が主流のなか、綿を原料としたコットンペーパーを富士山の麓で作っている。他にも、紙の外縁に施された色付けは手作業で仕上げるなど随所に職人の技が光る。

人気商品は、生き物やモチーフが立体的に加工された『No.200シリーズ』というカード、リアルな動物が活版印刷で施されたミニカードなどだという。また大学生には、就職活動で企業にシンプルで上質な封筒と便箋で御礼状を送ることや、企業との交流会用に名刺を作るのがおすすめだそうだ。

広報の永田留美さんは、「手紙文化を絶やさないようにしたい。人と人が繋がる紙でのコミュニケーションを大切にしていきたい」と語る。郵便受けを開けた時、手書きの手紙が入っていると嬉しくなる。大切な人に手紙を贈ってみよう。


様々な手紙用品が並ぶ

〒150-0001　東京都渋谷区神宮前 4-5-4
TEL 03-5785-0719　FAX03-5785-1845
OPEN 11:00-20:00(火曜定休日但し祝日の場合は営業)

世界に誇れるサービスを提供するLINE
青学OG社員にインタビュー

現在、多くの人が利用する無料通信アプリLINE。LINEは、チャット機能だけでなく、音楽やゲームなどにも力を入れ、活動範囲を広げている。そこで今回は、世界的にも注目を集めているLINE㈱で働く桑田万優子さん（12年度・国卒）に話を伺った。

コーポレートビジネスグループという部署に所属する桑田さん。様々な企業とコラボレーションしてスタンプを配信するといったLINEを活用した企業向けの広告事業を担当している。

桑田さんは、LINE㈱で働くことについて、「従来のサービスの提供が欧米企業から世界へという形であったのに対し、LINE㈱ではアジアの企業から世界に誇れるサービスを提供できる」と魅力を掲げる。仕事を通じて関わる企業の数も多く、またその業界も多岐にわたるため、色々な知識が必要となる。「学生のうちに様々な視点から物事を見るようにすると良い。興味の幅を狭めないでほしい」と桑田さんは言う。何事も挑戦していくことが大切であるということだ。

また、桑田さんはLINEを知らない海外の人にその特色を説明することの難しさを語る。その手助けになったのが、大学時代に受けた「気持ちを伝える要素は93%のジェスチャーと7%の言葉であるという講義」だったと言う。つまり、言葉で伝えることの限界をスタンプという形で補完するという説明をすることで、アジア独特のニュアンスを伝えることに成功しているのだ。さらに、英語で自分の意見を伝えることができると、海外から注目されている企業であればあるほど、役立つことはたくさんあるだろうとも語った。

私たちの生活の中で欠かせないものになっていくことを目標に活動するLINE㈱。その一環として、LINEのやり取りだけでピザの注文ができたり、アルバイトの面接の日程などを決めたりすることができるサービスの導入を始めた。このように、日常のやり取りをより簡単にできるようにすることで、私たちの生活を便利にしようとしている。

月に二度、社内での組織編成の変更が可能な体制からも窺えるように、常に革新的な事業を展開しているLINE㈱。そんな企業のサービスは私たちの生活に益々、必要不可欠なツールになっていくだろう。


LINE㈱の人気キャラクターと共に

郵政博物館
日本の郵便 その歴史に迫る

郵政博物館は『心ヲツナグ　世界ヲツナグ』をコンセプトにした、東京スカイツリータウン・ソラマチ9階にある博物館だ。当館では、郵便や通信の文化の成り立ちに関する約400点の資料を7つの世界に分けて展示している。

まず近代通信の始まりを『「始」ノ世界』として紹介している。1870年、前島密は渡英した際に郵便制度を視察し多くの知識を日本に持ち帰った。彼は日本の郵便の父」と称され、郵便や電信、電話など事業に取り組んだ分野は多岐に渡る。

次に『「郵便」ノ世界』では日本の郵便の歴史を紹介。郵便車やポストのような赤い郵便器具の始まりは100年以上前になり、人目に付きやすくするためにその色を基調としているという。

『「切手」ノ世界』では世界の珍しい切手など約33万種を展示している。切手を見ることで、その国の歴史など多様な情報を得ることができることから「小さな美術館」と呼ばれているという。また、郵便や通信の歴史を上映するメッセージシアターがある。展示・企画ゾーンでは11月末まで、星や宇宙の切手を展覧する『切手でみる星の物語展』が開催されているなど、郵便の世界を隅々まで紹介している。郵便の歴史を辿ってみるのも面白い。


歴史を伝える博物館

電話の歴史

①1876年 アメリカ人のベルが電話を発明
↓
②1878年 国産電話機を制作
↓
③1933年 3号卓上電話機完成
↓
④1968年 都内23区でポケットベルサービス開始
↓
⑤1969年 押しボタン電話機の売り出しが開始され、翌年公募で「プッシュホン」と命名される
↑
⑥1980年 コードレスホン販売開始
↑
⑦1987年 携帯電話サービス開始
↑
⑧2009年スマートフォン発売開始

メールマナー

件名：OB訪問のお礼
○○株式会社　（一目見てわかるように件名を書く）
○○部○○課　○○様
（わかっていたら名前はフルネームで）

昨日はお忙しい中、貴重なお話をお聞かせいただき誠にありがとうございました。

……

今後ともご相談させていただくことがあるかと思いますが、ご指導よろしくお願いします。
まずは取り急ぎお礼まで。（要件は簡潔に）

○○大学○○学部○○学部○学科　○○　太郎
E-mail:○○○@○○○.ne.jp
住所：〒○○○-○○○
電話：03 (○○○○)　○○○○
（住所や電話番号、アドレスは必ず記入）

青山学院管弦楽団第109回定期演奏会

歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲／グリンカ
スペイン奇想曲作品34／リムスキー＝コルサコフ
交響曲第5番ニ短調作品47／ショスタコーヴィチ
指揮 清水宏之

東京芸術劇場 コンサートホール
開場 17:15　開演 18:00 全席指定 1000円
2016年11月12日 土

♪青学割のご案内♪
青山学院大学・青山学院女子短期大学在校生の方は半額(500円)にてチケットをお求めいただけます。
詳しくは公式HPをチェック▶▶▶
※座席の選択はできません。

主催：青山学院管弦楽団　後援：学校法人青山学院　青山学院大学　青山学院管弦楽団《楽友会》

MY WORK

もう一歩。
あなたの夢に近づくために

マイワークでのお仕事探しは「日払い」・「未経験」・「好きな時に」
就活中やインターン中、突然の要り様にも、空いた日にお仕事を探せます。
自分の都合に合ったお仕事選びで、忙しい大学生の皆さんを応援します。

☑日払い・週払いOK　☑未経験者OK　☑履歴書不要

STEP1 説明会に参加！

お近くの会場をご紹介！
1～2時間ほどで説明会、
手続きまでらくらく完了。

STEP2 働ける日を登録！

働ける日を登録！変更から
キャンセルまで、電話や
モバイル上でも簡単登録。

STEP3 仕事前日に電話！

前日に電話すれば、その日に
あるお仕事をご紹介。
条件に合った仕事を選択。
アクセスまで丁寧にご案内。

◆お仕事例

お菓子の袋詰め、ＰＣ入力、
おもちゃ・ギフト商品・パンフレットの
仕分け、ピッキング、アパレルの値札付け
などなど

◆勤務時間

9:00～18:00 、
21:00～ 翌6:00
17:00～23:00　など

※多少の時間変動、残業の可能性有

◆勤務地

東京、神奈川、
埼玉、千葉、茨城
など関東に多数

時給950～1,250円

問合番号（　1690983001　）
受付（10時～19時 土日祝OK）

0120-77-1144

物流サービス事業　ア　パ　派
一般労働者派遣業（般）13-070511

上記より直接
説明会予約可

◎渋谷営業所　東京都渋谷区神南1－9－2大畠ビル5F
◎町田営業所　東京都町田市森野1－33－11町田森野ビル4F

※高校生不可・学生は1日のみＯＫ、派遣は派遣法に基づく就業です

2016年度　第14回 相模原祭プレビュー

10月8日（土）
9日（日）

相模原祭実行委員会
委員長
上月貴裕君

今年度で開催14回目を迎える相模原祭。相模原祭実行委員会委員長の上月貴裕君（社2）に話を伺った。

今年度のテーマは「わ」。実行委員会内でのアンケートで決められたこのテーマは、「環」「和」「輪」の3つの漢字に置き換えられる。環境に優しい大学祭であり、来場者と実行委員が調和を保ち、笑顔の輪が広がるようにという意味が込められており、相模原祭の理想像が現れている。

相模原祭は例年お年寄りから子供まで幅広い世代が訪れる。人気の環境戦隊エコレンジャー、LABO PROJECTや芝生企画などを前面に出した企画が盛り沢山だ。また「開かずの間　時の止まった恋物語」はストーリー型の迷路で今年度始まる新しい企画である。これらの企画を通して地域に愛される大学祭を目指す。


笑顔の溢れる大学祭が理想

また、上月君は「相模原キャンパスのことをあまり知らない学生も多いため、「相模原祭に来場してもらい、よく知るきっかけにしてほしい」と話した。本学学生のゼミやサークル等の団体出店やステージは定番である。今年度はさらに、青山祭とコラボレーションしたパフォーマンス企画も生まれ、青山キャンパスの学生も十分に楽しめる。

委員長として委員全体を取りまとめ、準備を行ってきた上月君。開催当日への意気込みとして、「まず実行委員が楽しんで自分たちから笑顔の輪を広げていきたい。来年もまた来たいと思ってもらえるように来場者を楽しませたい」と満面の笑みで語った。

芸能人トークショー

※入場にはチケットが必要です。

ぷぷぷぷぷ！

ちぇるちぇる おかしパーティー



日時：10月8日（土）11:00~12:00
場所：相模原キャンパスA棟アリーナ
出演：りゅうちぇるさん

芝生企画

相模原祭の大きな目玉である芝生企画。これまでは地域の子供たちと遊具で『遊ぶ』ことが主だったが、本年度は『作る、遊ぶ、学ぶパンプキンわーるど』をテーマに、多くの新しい企画が準備されている。

『作る』コーナーでは、オリジナルのエコバッグや、粘土を用いてアクセサリーを製作するワークショップを開催する。この粘土はお湯に浸すことで様々な形に変化できる特殊なもので、人気のため品薄状態が続いている。この機会に体験してみてはいかがだろうか。

また『学ぶ』コーナーではフェアトレード商品の販売とその説明が行われる。その他、自転車での電力発電も体験できるそうだ。

もちろん例年通り『遊ぶ』ことも忘れてはいない。相模原祭のいわば顔であるふわふわイーゴくんを始め、様々な遊具が用意される。

これらの新しい試みは、「自由度の高い芝生を外遊びのみで使うのはあまりに「一般的すぎる」という発想から生まれた。彼らが掲げる目標に『新・相模原祭』という言葉があるが、この企画にも大きく反映されているようだ。


子どもに人気のふわふわイーゴくん

相模原祭実行委員会企画局特別企画部芝生担当の後藤広君（理2）は「本年度の相模原祭のテーマは『わ』。様々な漢字を当てはめることができる。『環』境に配慮しつつ、地域の方々と交流の『輪』を広げ、親しみやすい『和』の場を実現したい」と笑顔で語った。会場となる芝生はJR横浜線からもよく見える。多くの来客が期待できそうだ。

教室

教室企画の魅力はなんといっても、様々なジャンルの団体が集まり、バラエティー豊かな企画に出会えることだ。今年は音楽演奏や理工学部の研究室が行う展示、友達同士で結成された有志など、計23団体が顔を揃える。

教室企画の運営を率いる赤田優花さん（理2）は「相模原キャンパスが誇る綺麗な建物に加え、内容が棟ごとに統一されるため、来場者に分かりやすく、気持ちよく過ごしてもらえるだろう」と語る。教室の配置も昨年と変えるため、「普段関わりを持たない団体が隣同士になることで仲良くなったり、互いに刺激し合ったりしてもらえれば」と期待を滲ませる。当日は参加する団体側も楽しめる相模原祭となるだろう。

今年から新規に参加するところもある。当日に向けて、不安を感じている団体も少なくない。それぞれの要望や質問に一つひとつ対応していくのは大変だが、メールや説明会で顔を合わせた際に、感謝の意を伝えられることがやりがいに繋がっているという。


多種多様な企画に注目だ

今年の相模原祭のテーマである「わ」が表すように、「来場者はもちろん、参加団体皆に笑顔の輪が広がってほしい。教室企画がそのきっかけになれたら、私たち実行委員のこの上ない喜びとなると思う」と赤田さん。様々な「わ」の誕生が楽しみだ。

ステージ

毎年の相模原祭で中核を成すのが、多くのパフォーマンスが行われるステージだ。今年のステージについて相模原祭実行委員会ステージ音響部スクエアステージ担当の嵯峨南君（理2）に話を伺った。

今年の相模原祭でもキャンパス内には、『スクエアステージ』と『パフォーマンスエリア』の2つのステージが設けられる。スクエアステージは主に学生向けのイベントが催され、バンド演奏やダンスが行われる。対してパフォーマンスエリアでは、相模原祭らしい地域密着型のイベントが企画され、子供連れや近隣住民が楽しめる内容になりそうだという。嵯峨君は「パフォーマンスエリアのステージは客席と同じ高さでフラット。一緒にダブルダッチをしたり、エコレンジャーと写真を撮ったりと身近に触れ合える」と胸を張った。

他方で力を入れているのがパレードだ。吹奏楽バトントワリング部や応援団などが行うパレードは、例年多くの集客がある。「昨年は雨で中止となったが、一昨年よりもパワーアップした内容のはずだった。今年こそはやりたかったことを成功させたい」と意気込んだ。

「相模原祭の顔は大きなステージだと思っている」という嵯峨君。今年の委員会内でのテーマに『新・相模原祭』があるとし、「ステージから新しいものをどんどん発表し、テーマに沿ったものにできれば」と熱い思いを語った。


大いに沸いた昨年の様子

授業・就活の合間にアルバイト
イベントスタッフ大募集!!
登録制だから選べる勤務日・勤務先

株式会社ライセンスアカデミー・大学新聞社では、高校生対象の進路イベントを年間約6000回、また大学生対象の合同企業説明会を年間約400回開催しています。
各イベントでは多くの学生アルバイトが活躍しており、お互い協力しあいながら、高校生・大学生のイベント参加者に情報と夢と感動を届ける仕事をしています。今回は、このイベント開催の運営に関わる登録制のアルバイトを大募集します。

募集内容
待遇　時給1,800円（当初の3時間。以降は1,200円）※研修制度あり
備考　●勤務時間はイベントにより異なります（1イベント当たり4~7時間）。●原則として現地集合・現地解散／交通費全額支給

詳細・申込は（バイトカレッジ内）…



問い合わせ　ライセンスアカデミー　〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24　0120-164-121（月~金 10~17時）

ラクロス部男子

勝利も点差開かず 次へ課題

第29回関東学生ラクロス男子リーグ戦、対成蹊大戦が9月9日に大井ふ頭中央海浜公園第二球技場で行われた。昨年度目標であった1部昇格を果たし、学生日本一を目指して戦うリーグ戦3戦目を白星で飾った。



シュートを決め仲間と抱き合う

試合開始直後からしばらくは本学のオフェンスの時間が続く。塚本（理3）がシュートを決め、本学が先制点をとる。成蹊大のエキストラオフェンスを阿達（教4）のナイスセーブで守り、その後冨永（済2）がシュートを決め、2点目を取った。その後は攻めるも得点にはならず第1クォーターを終える。

第2クォーターでは終始成蹊大のペースで、シュートを決められそうになるも、阿達のナイスセーブが続く。しかし本学も遠い位置からのシュートなど、何度もシュートを試みるが失敗。ゴール際での攻防が続いた。成蹊大に1点とられるも、その後は堅いディフェンスで守り抜く。小山（史4）がシュートで3―1と優勢を維持した。

第3クォーターは始めはこちらのペースで試合が進み、本学ゴール前で試合が展開する。何度か成蹊大のシュートが放たれるがゴリーがセーブ。福田（教3）のクリアでオフェンス後、佐藤（済4）と山田（法2）がシュートを決める。田邊（営4）のビッグセーブで第3クォーターは終了した。

第4クォーターでは相手の勢いに押され、成蹊大に立て続けに2点をとられる。苦しい展開に本学はパスを繋ぎシュートを試みるも、成蹊大にさえぎられ、その後も2度シュートを狙うが惜しくも枠外であった。しかしそのまま逃げ切り、5―3と本学の勝利で試合を終了した。

3戦目を終えて主将の岡村（教4）は「1戦目、2戦目は負けてしまったので絶対に勝ちたい試合だった。もう少し点数を引き離して勝ちたかったが、接戦になってしまったのが悔やまれる」と振り返る。また「次に繋がる目標が見つかった試合だった。あと2つある試合も勝って、青学は強いというのを見せていきたい」と本学男子ラクロス部の目標である学生日本一に向けての抱負を語った。

リーグ戦は残り2戦。チーム目標である『1部で戦えるチーム』を達成できるよう、彼らにはさらなる活躍が求められる。

第29回関東学生ラクロス男子リーグ戦						
(9月7日現在)	慶應義塾	東京	一橋	中央	青山学院	成蹊
慶應義塾		○11-7●	○12-5●		○11-5●	
東京	●7-11○		○9-3●			○13-5●
一橋	●5-12○	●3-9○			○14-1●	
中央						●5-7○
青山学院	●5-11○		●1-14○			
成蹊		●5-13○		○7-5●		

剣道部

「つなぐ剣道」 惜しくも敗れる

第65回関東学生剣道優勝大会が9月11日、日本武道館にて行われた。1回戦は拓大と対戦した。

先鋒戦から副将戦まで、本学は攻めの姿勢を続けた。しかし両者は拮抗し、0―0のまま試合は続いた。

動きが見られたのは大将の平崎（法4）。拓大に胴を取られるも、その後すぐに突きを決め、代表戦へともつれ込んだ。代表戦では相手が平崎の面を取り、本学は敗退した。

この試合をもって主将の平崎は引退である。平崎は今回の試合結果についてこう語った。「良かった点は『つなぐ剣道』ができたこと。後輩たちのおかげで代表戦まで来ることができた。だが、『つなぐ』ことができた一方で『取る』ことができなかった。代表戦よりも前で得点できなかったことが反省点」と時折悔しさを滲ませたが、その表情は清々しかった。



試合は代表戦へと託された

金成監督は「稽古を通して部員一人ひとりが自信をつけ、仲間を信じることができるようになった。それが『つなげる』ことに繋がったのだと思う」と語る。また、「悪い点は特になかったが、勝負は結果が全て。紙一重の負け方だったのではないか」と述べた。

剣道部男子の次の目標は全日本出場だという。益々の活躍が期待される。

硬式庭球部

波瀾に富んだリーグ戦 「後期に繋げたい」

平成28年度関東大学テニスリーグが、8月23日から有明テニスの森公園と各大学テニスコートにて行われた。本学は男女共に2部リーグに出場した。

第1戦、筑波大に4―5で惜敗した男子。第2戦の対専大戦ではダブルスの坂本（社3）・徳本（営2）ペアが活躍した。第1セットを2―6で落としたものの、そこから怒涛の反撃を見せる。強烈なスマッシュで相手を揺さぶり、続く2セットを6―4、6―3で連取。2―1で勝利したが、チームは4―5で敗北した。第3戦の対日大戦は5―4で勝利。「去年まで1部に所属していた日大に勝利できた時はこの上ない喜びと驚きを感じた」と主将の関谷（社4）は振り返る。

勢いに乗った本学は、残る2戦も連勝し、リーグ3位で終えた。山下監督は「惜敗が続く窮地の中で盛り返せたのは、1年間すべきことをしてきた証」と分析。「今後も個々の力を高めていくことが必要」と話した。

一方、第3戦を終えた時点で2勝1敗の女子は第4戦、駒大と対戦した。ダブルスでは柳原（史4）・三角（史2）ペアが健闘し、2―0のストレート勝ちを収める。続くシングルスでも三角は善戦。安定感のある試合展開でストレート勝ちを収めた。しかしチームでは一歩及ばず、3―4で敗北。第5戦は東洋学園大に5―2で勝利したものの、リーグ5位に終わり、9月25日に行われる入替戦に出場することとなった。井上監督は入替戦に向け「7―0で勝利し、2部と3部のレベルの差を示したい。今まであまり勝てなかった選手も、再度チャンスを貰ったと考え、最後に勝利してほしい」と意気込む。本学の善戦に期待がかかる。



女子ダブルスで健闘した柳原・三角ペア

SPORTS 夢中人 200

さらなる 強さを求めて

パワーリフティング部　佐竹　優典



「継続が何よりも大切」

高校生で偶然出会ったパワーリフティング。しかし、この出会いが佐竹の人生を大きく変えた。高校2年生の後は本学OBからの誘いもあり、パワーリフティング部に入部した。現在は主将を務めている。

パワーリフティングは個人競技だ。しかし佐竹は、「部員同士の情報交換でお互いの改善点に気づくことができる」と、チームワークの重要性に言及する。彼は現在、正確なフォームと筋力向上を心掛け、日々練習を積み重ねている。パワーリフティングの魅力については、努力の成果が数字にはっきりと表れるところだと話した。



さたけ　ゆうすけ

1996年6月4日生

総2 161ｾﾝﾁ

埼玉県春日部共栄高等学校出身

座右の銘：千顧万謙

先月行われた世界ジュニアパワーリフティング選手権大会では59kg級でトータル2位に輝いた。だが佐竹は「主将として、自分だけが強くなるのではなく、部全体の向上にも貢献したい」と謙虚な姿勢を貫く。さらに競技における継続の大切さに言及し、「小さな積み重ねが大きな結果を生む」と力強く語った。

次に目指すは全日本学生選手権での団体優勝。他大学と比べてかなり部員が少ない本学だが、少人数でも戦えるところを見せたいという。部のため、そして自分のために、佐竹は今後も努力を続けていく。

青学新聞
定期購読募集中
年間1000円で、あなたの手元へ青学新聞をお届け♪
お問い合わせは➔agunewspaper@gmail.com

バスケットボール部男子

粘りの末に掴んだ初戦白星

第92回関東バスケットボールリーグ戦の初戦が9月3日、国立代々木競技場第二体育館で行われた。本学は早稲田大学との対戦に勝利し、リーグ戦に向けて好スタートを切った。

第1ピリオドは、開始早々安藤（総4）によるシュートで幕を開けた。早大と一進一退を繰り返しつつも、相手のリバウンドを取ることで点数を重ね、本学のペースに持ち込む。続く第2ピリオドでは前半、安藤からのパスを高橋（総2）が決めると、それに続いて本学が4連続得点を連取するなど、本学のオフェンスが炸裂する。フリースローをきっちりと決め、早大に10点差をつけて第2ピリオドは終了。後半戦へ勢いをつけた。

このまま勢いに乗って試合が進むと思われたが、第3ピリオドでは早大が猛烈な追い上げを見せる。試合中盤、早大の5連続得点によって同点に追いつかれてしまう。本学も負けじと粘りの姿勢を見せ、ナナー（国1）、大崎（総4）らが得点を重ねる。第3ピリオド残り30秒で大崎が3ポイントシュートを決めると、47―42で5点のリードを残し第4ピリオドへ突入した。

勝負の行方をかけた第4ピリオドは、前半早大の追撃によって一時逆転されるも、本学は粘り強くディフェンスを続ける。すると後半、安藤、納見（総1）を中心にシュートを決め、一気に追い打ちをかける。そして試合終了間近、納見が放った3ポイントシュートが決め手となり、70―63で試合終了。今後のリーグ戦に向けて勢いをつけた。

試合終了後、廣瀬コーチは「我慢の試合だった」と語り、「下級生が多いため、このリーグ戦を通して経験を積み、一人ひとりが成長してほしい」と話した。主将の柏倉（法4）は「今日の勝利はチーム全員の粘り勝ち。一戦一戦ディフェンスをしっかりして、優勝を目指して頑張りたい」と意気込みを語る。


次々とゴールを決める安藤


積極的に攻撃を仕掛ける大崎

本リーグ戦は10月末までの毎週土日に行われている。優勝を目指す本学バスケットボール部の今後の活躍にも注目だ。

第92回関東大学バスケットボールリーグ戦

9月3日
○青山学院大学 70（13-10 16-09 18-23 23-21）63 早稲田大学●

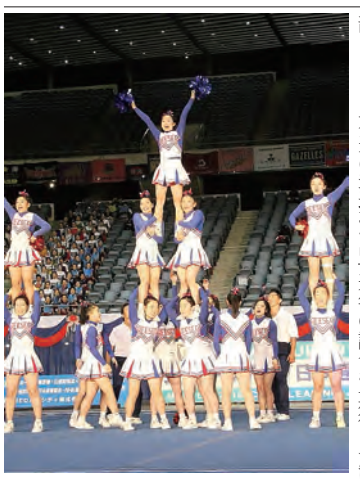
9月4日
○青山学院大学 77（18-21 19-20 23-17 17-16）74 慶應義塾大学●

チアリーディング部

ノーミスの演技で決勝進出を達成

JAPAN CUP 2016 全日本チアリーディング選手権大会が8月26日から28日にかけて、国立代々木競技場第一体育館にて行われた。会場は盛大な歓声が響き渡る大変賑やかな雰囲気だった。本学は昨年決勝進出を逃したが、今年は見事に決勝進出を決め、12位という結果で大会を終えた。

本学は1日目の予選からDivision1大学の部の競技に出場した。演技では序盤から音楽や掛け声に合わせたトウタッチやタンブリングなどの技を決めるが、最後のピラミッドでバランスを崩してしまう。かろうじて予選を突破し準決勝に駒を進めた。2日目の準決勝では、予選のミスを修正しノーミスで演技を終える。198点という高得点を叩き出し、見事に目標としていた決勝進出を決めた。しかし、3日目の決勝ではミスが多く落下が目立つ。本学チアリーディング部REESES本来の演技が出来ず12位に終わった。


笑顔で会場を盛り上げる

大会後、主将の瀧川（英3）は「やはり決勝の舞台で一番いい演技をしたかったが、目標だった決勝進出を達成できて少し気が緩んでしまった部分があった」と悔しさを滲ませる。また目標を達成できたことについては素直に喜びつつ、「次の大会では決勝の舞台で最高のいい演技を出せるように調整するのが目標」と今後の大会に向けて語った。来年の試合も期待したい。

ラクロス部女子

逆転勝利で好発進

第29回関東学生ラクロス女子リーグ戦の対東農大戦が、8月12日に富士通スタジアム川崎で行われた。リーグ初戦となるこの試合、本学は勝利を収め白星スタートとなった。

前半開始から本学は強気の姿勢で攻め、岩部（社4）が先制点を奪う。しかし、その後はパスを繋いでいくもなかなか得点に結びつかず、1点を返される。試合開始16分頃にはさらに相手が得点し、1―2と逆転を許す。負けじと攻めていこうとするが、調子を上げてきた相手のディフェンスに阻まれてしまった。本学は得点のチャンスを掴めず、相手の攻撃をしのぐ苦しい状況が続く。このまま前半が終わってしまうかと思われたが、巳波（総4）が得点し2―3となる。終了間際まで攻めていくが追加得点にはならず、本学はリードを許したまま前半を折り返した。


強気な攻めの姿勢を崩さない

迎えた後半、やはり前半から引き続き苦しい展開となる。相手の動きを止められず、次々に得点されてしまい、後半開始7分ほどで2―5と点差が開いてしまう。だが後半14分ほどに得点したのを皮切りに調子を取り戻す。後半17分には鈴木（地2）、続いて宮腰（地2）と本学が連続得点。5―5の同点に追いつく。残り6分で一川（英3）が追加点を奪い、ついに逆転する。本学の勢いは続き、7―6で試合を終えた。

主将の岩部は、「苦しい時間もあったが仲間を信じてプレーした。コーチやOGの皆さんに感謝したい」と話した。また、コーチは相手が強く、予想以上に厳しい試合だった。それでも初戦で勝てたことは本当に良かった」とし、「リーグ予選を突破し日本一を目指すためにも、まずは目の前の試合に集中していきたい」と語った。

キャンパスの華

中村 麻美（なかむら あさみ） さん（済3）



あ～なんかだるい。朝夕の温度差でおかしくなりそうだぜ……と、ん!?（目をこする）なんだあの輝きは、顔で俺は生き返るっ！☆

なんだこの美しいお方は……なっ、中村麻美ちゃんじゃないか！うぉぉその笑凄く努力できたから、いい経験になったよ♪」あぁ「本気で打ち込める何か』って大切だよな。

あ、俺は去年のミスコン忘れてないぜ！出場してどうだった？「楽しかったし趣味はランニングだって？「うん、汗をかくと毒素が抜けて、代謝もよくなるの🌸」は～健康的だなぁ。ん？料理も趣味だって⁇「うん！外食すると力ロリー高くなるから、家ではヘルシーなものを食べたくて……」麻美ちゃんの手料理か、食べてみたいぜ♡

ちなみに麻美ちゃん、好きな男性のタイプは？「とにかく優しくて大切にしてくれる人！」こ、これはまさかの？俺の時代が？キタァァァアーー！

（悠）

青山学院購買会

青山学院購買会は、学生の皆様のキャンパスライフを応援しております

● 青山学院オリジナルグッズ 大好評販売中
● e-hon 会員好評受付中（青山店・相模原店 書籍売場にて）
● 後期 卒袴展示会 開催 ※9/26（月）～1/27（金）

青山店 （1号館1階） Tel：03-3409-4401 http://www.aogaku-kobaikai.com/
相模原店（G棟 1階） Tel:042-759-6180

